

別記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 8月 22日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県栗東市下鉤21-1氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
日清食品株式会社 関西工場
工場長 小野 宗彦滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成]したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	日清食品株式会社 代表取締役社長 安藤徳隆
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都新宿区6-28-1

1 事業所の概要

事業所の名称	日清食品株式会社 関西工場								
事業所の所在地	滋賀県栗東市下鉤21-1								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	2	めん類製造業			
事業の概要	資材受入れ、即席めんの製造、即席めんの引渡し								
従業員の数	755	人	操業時間	16	時間/日				
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	18 (貫流15台 廃熱3台)	台	熱源設備	10 (パーム油加 温設備)	台	照明設備	約1000 ~2000	台
	コンプレッサ	23	台	空調調和設備	834	台	その他	ガスタービン2台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2024	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2028	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

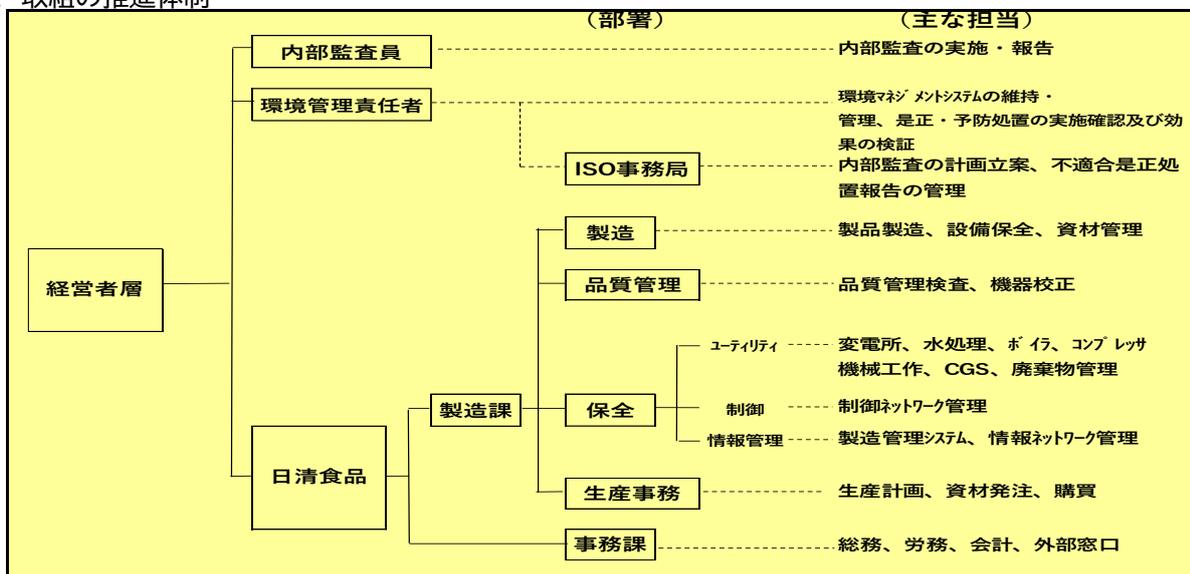
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境方針<基本理念>
 「日清食品 環境憲章」を順守することはもとより、湖国の事業所として地域社会との 共生を目指し、生産活動における環境負荷を低減し、次世代に住み良い豊かな環境を受け渡すように努めます。

行動指針

1. 環境関係の法規、規則、協定を順守します。
2. 即席めん及び包装材料製造、保管、荷役に関わるロスの削減を推進します【SDGs 12】
3. 廃棄物の減量化とリサイクルに努め、再資源化を推進します【SDGs 12】
4. 環境汚染の防止に努めるとともに地球環境の保護に貢献します
5. エネルギー使用量の削減を推進します 【SDGs 13】
6. 持続可能な資源の使用を推進します 【SDGs 12,14,15】
7. 私達自身が自主的にPDCAサイクルを回し、継続的な改善を推進します。
 また、環境マネジメントシステムの仕組みを評価し、改善します。
8. 顧客のみならず社会全体に対して誠実で透明性を持った活動をするため、本方針は必要に応じて公開します。また、社会の変化に応じて見直していきます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・ガスコージェネレーションシステムの採用、廃熱ボイラーで工場プロセス蒸気に利用
- ・LED照明の導入
- ・人感センサー照明の導入
- ・事務所エリア全熱交換換気導入による空調負荷低減
- ・井戸ポンプのインバータ化
- ・休日の排水処理ブロワー風量削減
- ・CO₂係数の低い排水処理薬品に変更

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	エアコンの温度設定の見直し	2024年度～	
2	設備導入	エアコン省エネ設備の導入	2024年度～	
3	設備導入	フラッシュ蒸気廃熱利用装置の導入	2024年度～	
4	設備導入	送風機のインバータ化	2025年度～	
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	20,645					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	32,263					
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	32,263					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		19.45					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	RE100
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	32,263					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.360					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項	RE100に参画し、2030年までに非化石証明予定						

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	従業員への 啓発	敷地内でのアイドリングストップ防止の啓発	通年	
2				
3				

(4) 業務で使用する車両の脱炭素化の取組

	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
		(令和元)年度	(令和2)年度	(令和3)年度	(令和4)年度	(令和5)年度
保有車両の数	台	1	1	1	1	1
上記のつら 次世代自動車等の 数	台	0	0	0	0	0
特記事項						

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジメ ントシステム (EMS)	ISO14001(環境マネジメントシステム)を運用し、継続 改善を実施する	2019年～	
2	SDGs	ISO14001にSDGsの取り組みを統合した 目標⑫、⑬、⑭、⑮	2021年～	
3	3R	廃棄物の分別、再利用化し、再資源化率99.5%を維持 する	2019年～	
4	RE100	RE100に参画し、2030年までに非化石証明予定	2030年まで	
5				